

松崎 淑子



<http://matsuzakiyoshiko.seikatsusha.me/>

連絡先：狛江市議会

〒201-0003 狛江市和泉本町 1-1-5

電話 03-3430-1171

狛江・生活者ネットワーク事務所

電話 03-3430-1302、Fax 03-5761-0678

e-mail komanet.seikatusya@nifty.com

議会レポート 2021. 4.30 発行

狛江市議会第1回定例会(2/20~3/26)と2021年度予算審査の報告、市政情報をお届けします

まつざき淑子のちょっと一言

HPV(子宮頸がん)ワクチンについて

昨年の秋から国の通達により小学6年~高校1年の女兒対象に、HPV ワクチン接種が案内されています。このワクチンは2013年公費による定期接種となりましたが、多数の重篤な副反応被害が報告され、わずか2ヶ月で「積極的に接種を推奨しない」ことが決まり今に至ります。ワクチン内容は同じ、副反応への治療法もない、補償も受けにくい状況のままです。子宮頸がんは20歳を過ぎてからの定期検診と治療でほとんどが克服されることがわかっています。接種に際しては十分な情報収集とご検討を！

2021年度一般会計予算に賛成しました

●2021年度一般会計予算は、303億2千万円(前年度当初予算299億3千万円比1.3%増)です。

ウィズコロナの時代ですが、市民生活の基盤である市の事業計画の維持・遂行を目指すことを確認しました。

●歳入に関しては、コロナによる税収の減少が予測され、国の地方交付金の大幅な減少に対しては、臨時財政対策債の限度額満額での借り入れが実施されます。長年実現されていない公園用地の確保など、予算が行き届かない部分の実現の一助とするため、中期財政計画を見直し、超低金利下(一昨年度金利0.005%)における臨時財政対策債を基金に積んで活用することを要望しました。

●市民センターの改修方針であきらかになったのは行政と市民の間で、市民参加対象の条項解釈に齟齬があったことです。今後大規模公共施設などの設置に関して、その前段の場所の選定や設置方針などにも意思形成段階からの市民参加と行政の説明責任が実現するよう要望します。

●市庁舎と防災センターの電力調達に100%再生可能エネルギー(RE100)を導入する決定を評価します。これを第一歩として、今後他の公共施設へもRE100導入を積極的に進め、市民とともにロードマップ及び脱炭素実施計画を策定することを要望しました。

●コロナ禍での困窮家庭支援として、都内でも実施自治体が少ない高校生世代の医療費助成を評価し、今後償還払いではなく医療券制度の導入検討を求めました。

●第2期こまえ子ども・若者応援プラン実施計画には「遊びを通して、子どもたちの感性や生きる力を磨いていけるよう、プレーパークの運営を支援する。また、利用者の増加や更なる遊びの機会の提供に向け、出張プレーパークの実施を検討する」と明記されています。プレーパークは、子どもが自由に遊べる場が絶対的に少ない狛江市の子どもたちを応援する重要事業です。予算が削減されたことは遺憾であり、運営を委託している団体との丁寧な話し合いを進めるよう要望しました。

料金受取人払郵便

郵便はがき

狛江局承認

201-8790

668

差出有効期限
令和3年10月
31日まで

狛江市東和泉1-1-25
松崎ビル101

狛江・生活者ネットワーク
まつざき 淑子 行



住所 _____ 電話 _____

氏名 _____

年代 ~19・20 30 40 50 60 70 80代以上

生き生きレポート(無料)の定期的郵送を希望
します。





◆コロナ禍での学生応援給付金の延長を！

補正予算でコロナワクチンの接種に関する相談や予約システム等の整備費、一人暮らしの学生(大学、専門学校、予備校、留学生など)応援給付金一人5万円などが計上されました。学生応援給付金は3月末日までに、自己申請するもので、アルバイト時間の減少などで、生活費や授業料に困っている学生への狛江市独自の支援でした。市内学生寮に連絡するなど積極的に広報もしましたが、24件分の予算に対し申請は半分でした。駅頭では「知らなかった」「合格し一人暮らしを始めたけど対象外と言われた」などの声があり、周知を工夫し、期間の延長を求めたいと思います。

◆外部評価と計画推進を一体化した委員会

後期基本計画の「外部評価委員会」と「総合戦略推進会議」を一本化し「基本計画推進委員会」とする条例改正が行われました。

この新しくできる委員

会で、職員による自己評価ではなく市民主導の第三者的な評価が継続されることを期待します。行政が決めて諮問する事業の他にも、市民が評価の対象とする事業を提案できるような仕組みを要望しました。

◆介護保険料の改定

今年度からの3年間の第8期事業計画期間中の基準月額額は6250円となりました。保険料徴収に関する所得段階を14段階から17段階へと増やすことには賛成ですが、コロナの影響で困窮が切実な低所得第1、第2段階の介護保険料は据え置く修正案に賛成しました。

◆4月1日狛江市ゼロカーボンシティ宣言！

「狛江市ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情」は付託された建設環境委員会でも全員賛成で採択、最終日の本会議でも全員賛成で採択されました。

その直後に市長より発言が求められ、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ、ゼロカーボンシティをめざす」ことが表明されました！都内で7番目の宣言です。

フードバンク狛江:7月に就学援助受給世帯へ、学校給食のない時期の食料提供を始めます。ひとり親家庭への応援も継続して行います。
info@fb-komae.org 03-5497-0272

インフォメーション

まつぎき淑子の一般質問

◆認可保育園の人員費に注視し保育の質の確保を

狛江市認可保育園 20 園中、公立は 4 園、社会福祉法人委託 9 園、一般社団法人 2 園、株式会社運営は 5 園。委託事業者には園児・職員数にあわせて毎月国・都・市から運営費が支払われています。国の想定では人員費は委託費の 8 割となっています。市に毎年提出される「財務情報等の公表」を調査したところ、2019 年度株式会社運営の認可保育所において実際に子どもに携わる保育従事職員の人員費割合は事業活動収入の 38%~58%であることがわかりました。

私立保育園の人員費を市はどのようにチェックしているかの質問に対しては、毎月人員費に関わる補助金の実績報告で確認との答弁。私立及び公立認可保育園における報酬と労働環境を同じレベルにすることが、保育の質を確保すると主張しました。保育の質の確認と指導は、東京都による指導検査に市の担当者も同行し合同で実施しているとのこと。品川区は現場の職員も参加して独自の保育指針「のびのび育つしながわっこ」をつくっており、狛江市でもすべての保育施設で保育の質が確保されるよう施策の構築を要望しました。

◆2050 年脱炭素への狛江市ロードマップを市民協働で

昨年議会質問で「電力調達環境配慮方針」の策定を要望したところ 12 月に策定され、新年度予算では庁舎に再生可能エネルギー100%の電力調達が予算化されました！政府の2050年脱炭素方針に従って、狛江市でも環境基本計画のCO2削減目標値(2013年比で2030年度に36%、2050年度に80%)の再検討と、目標達成のための計画案が具体的で市民の意識啓発となるよう要望しました。市が率先して温室効果ガスを削減し模範となることが重要で、庁舎だけではなく今後は全公共施設への再エネ導入を進めること、今後地球環境、気候危機などの影響を被る子どもたちに実践的な環境教育をすすめていくことを求めました。



こまえくぼ 1234 で開催されたまえば展*にて
(*心のかぜをひいた人とその人を支えたい人の集まり
<https://maepia.webu.jp/>)

小田急線高架下に増設された第1小学校の寺前学童を視察



狛江・生活者ネットワークは、皆様からのご意見をもとに予算要望や市への提案を行っています。子育て・教育・介護・医療・環境・防災など、なんでも気になっていることをお寄せ下さい。



狛江市コロナワクチンコールセンター
直通 03-5539-0223 (9時~21時)
ナビダイヤル 0570-001-386